

推進方法クイズ

1	規則上許されたパンプをすると同時に、パドルで一かき分の効力をもつ一回のロールをさせても良い。	○	×
2	艇を前に進めたり、後退を防ぐ効果を持たない、左右方向への穏やかな舵の動きは42条違反ではない。	○	×
3	サーフィングやプレーニングできるかどうかギリギリのコンディションでは、パンプしてはいけない。	○	×
4	ある艇にとって、サーフィングやプレーニングできるコンディションであれば、他の艇にとってもサーフィングやプレーニングできるコンディションである。	○	×
5	ISAFのマニュアルによれば、戦術的な推進方法違反を目撃したジャッジは、単独でも(複数のジャッジの合意がなくても)、ペナルティーを与えられる。	○	×
6	ジャッジが、レース委員会の信号やクラス規則に従わず、ペナルティーを与えてしまった場合、艇には救済を受ける権利がある。	○	×
7	ISAFのマニュアルによれば、技術的な推進方法違反には、2人のジャッジが合意した場合にのみ、ペナルティーを与えられる。	○	×
8	ラフさせるためにヒールさせるのは、42条違反になる。	○	×
9	波によって起きた艇の横揺れを、選手は止めなければならない。	○	×
10	クローズホールドの角度より風上を向いた状態から、クローズホールドの角度に向けてベアしようとして行う、繰り返しの力強い舵の動きは、たとえ艇の向きが変わらなかったとしても、42条違反ではない。	○	×
11	タッキング完了後(新しいクローズホールドの角度になった後)には、艇をフラットに戻すためであっても、パドルで一かき分の効力を持つ、一回のボディパンプしてはいけない。	○	×
12	イエローライトエリアであることを理由に、ペナルティーを与えてはならない。	○	×
13	クラス規則で定められた風速を越えているのに、レース委員会がO旗を揚げなかった場合、救済の根拠になる。	○	×
14	R旗が揚がっているマークを回航した後は、ロックングしてはならない。	○	×
15	470の予告信号時にO旗が掲揚された場合、スタート後に、42条の制限が緩められる。	○	×
16	470の予告信号時にO旗が掲揚された場合、スカリングとウーチングしてよい。	○	×
17	プロテスト委員会のメンバーだけが、42条違反に対しペナルティーを与えられる。	○	×
18	各ロールでコース変更すれば、平水面で繰り返しロールさせてよい。	○	×
19	パドルで一かき分の効力をもたなければ、1回のロールは許される。	○	×
20	艇がクローズホールドの角度のとき、艇の向きが変わっていれば、一方向に向けてスカリングして良い。	○	×
21	セールを逆に張ったあとに、艇がバックするのを防ぐために、繰り返し舵を動かしてはならない。	○	×